



だめいぬ時雨
躑け記録

Presented By GANTAI SHOUJO CHUDOKU
KANCOLLE FanBook

R18



復讐

生き残った僕に
できること





僕の背負った罪を
償うにはもう
これしか方法はない

最上

扶桑
山城

朝雲
山雲

満潮



この復讐を
遂げたら
僕もそっちに
行くから
みんな待ってて







1618...

はあ

はあ

この僕が？

被弾した？

はあ



敵艦の攻撃を
受けると
こんなに痛いのか

はあ
はあ

ずっと戦ってきたのに
僕はそんなことも
知らずにいたのか

はあ



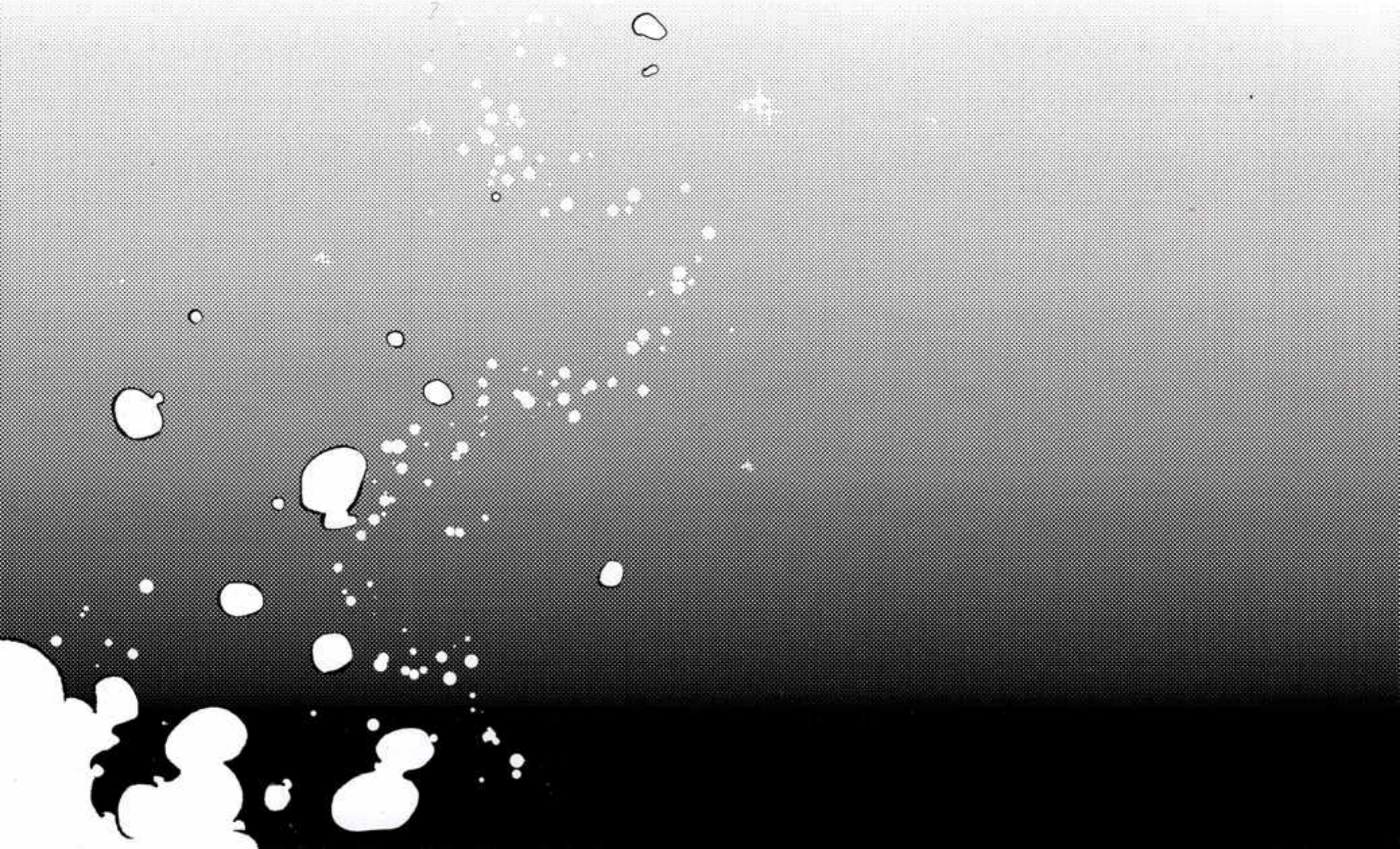
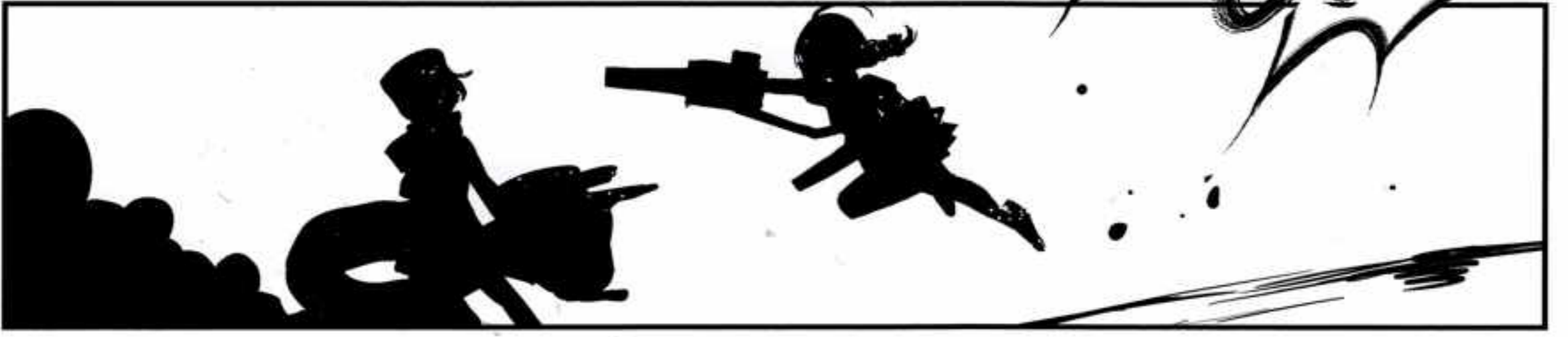
あ……
髪飾りがいや

……

……てやる

あー
あー
あー







あ
気が付きましたか
時雨さん



心配して
いたんですよ

本当に
良かった



あれ……
大淀

はい



僕……そんなに
ひどかったの？

もう
大騒ぎですよ



貴女があんなに
負傷して帰って
来るなんてこと

今まで一度も
ありませんでしたから

ものすごく
慌てたんです



そう言えば
体中が痛い

あ、提督に
通信を
入れなきゃ
ですね

ああ……
そうか……



僕はあそこで
死に損なっただんだ...

どうやら僕は
本当に運が
良いらしい

でも凄いですよね
時雨ちゃん

あの大勢の
敵軍相手に
一人で挑んで

それでもこうやって
今も私とお話が
できているなんて

.....



いいか時雨
歯ア食いしばれよ



どけ

はい？



さすがは時雨ちゃん
つてところでしょわか



アッ





腐った羊水も
追い払ったし
本題とイこうか



答えろ
時雨

……



何故命令にない
出撃をしたんだ？

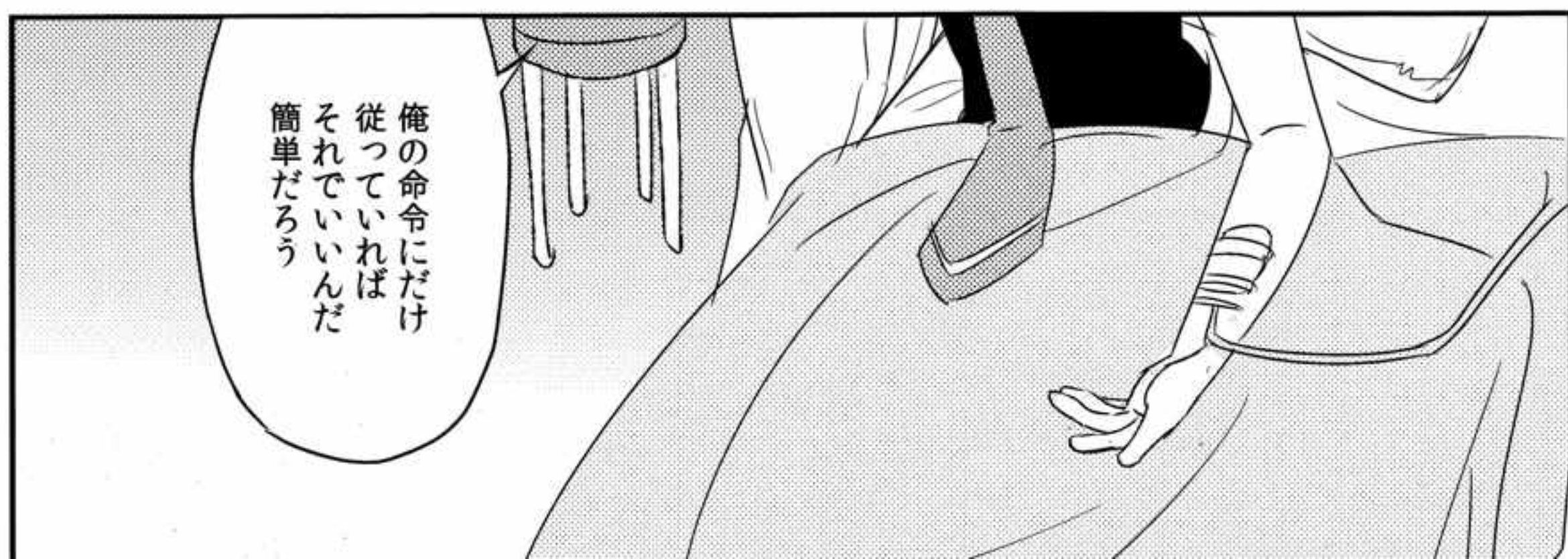


俺の駒

俺の犬

お前は自分の
立場というものを
理解しているのか？

お前は
駆逐艦



俺の命令にだけ
従っていいれば
それでいいんだ
簡単だろう



僕はただ

レイテで別れた
みんなのために

ふん

復讐を...

え？

提督？

クソ犬が勝手なこと
してんじゃねえ
犬の自覚を持て

それとも
犬の脳みそでは
理解できないか？

びびり

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん



まあ犬が人間の言葉を
理解できなくても
仕方ないよな

睡けねえと
覚えないよな

気付かずに叱って
ごめんな時雨
今教えてやるからな



脚、おそ、
押さないで

ひあつ……ぐ……
あああああ……

ぐっ

あ……押し……
あ……押し……

あがっ

あがっ

おい吠えるな
もうちよつと
静かにしろ

ほかの施設にまで
聞こえそうだ



い...
いただきます...

ズ...



ごめんな

え?

あ

ゴッ



ずっと寝てたから
腹減ってるだろ

遠慮
すんな

ちゅ
ん

ん
ん



もしそうなら僕は
抵抗なんてしてはいけない
そんな権利、僕にはないから



これは僕に対する
提督の罰なんだろうか



お前黙って
食えないのか？



あーあ
こぼしやがって
誰が掃除
すると思ってた

提督
ごごめん



お前は兵器
俺の駒
俺の犬

だから俺の
命令に従え

復讐だかなんだか
知らないが
勝手なこととはするな

次やったら
殴るところじゃ
ないからな



…あのね提督
僕、途中から記憶が
無いんだ

復讐の実感なんて
なにもない
果たせたどうかも
わからない



復讐をして
気が済んだか？
時雨、お前は
それで満足したか？



…
…
…ごめん
提督



失うものしか
なかった…
髪飾りだって
失くしたんだ…!!

あの髪飾りは
僕を縛り付ける
罪の証だったはずなのに
それさえ失くして

また僕はのこのこと
生きて帰ってきて
しまったんだ…!!



なあ時雨
正直なところを
話すとだな…

俺はお前が
駆逐艦かどうかなんて
どうでもいいんだよ



は



だから俺はこれまで
お前を使ってきた
たぶん俺はお前が—



俺は時雨に
そばにいてほしくて



僕は提督の
兵器で、犬だよ!!

さつき提督が
そう言って
くれたじゃないか!!

やめて
お願いだよ提督
それ以上言わないで

はて



俺はお前の考えてること
なんとなくわかってる
つもりでいる
わかってるから殴った

だから

俺の言いたいことも
理解してほしい
頼むよ、時雨



あ、あのね
提督……ごめん



僕は提督の言ってることを
受け入れるのが凄く怖い
提督の気持ち
考えてしまったら

もう一度と
戦えなくなりそうだ



ちよつと本音が
漏れただけで
くそつたれ

お前は今まで通り
俺の兵器で
俺の犬でいればいい



別に受け入れろなんて
言つてねえよ

う…



俺の命令だけ
聞いて、死ぬ

馬鹿



…馬鹿犬でごめん

提督

お前さつきから
謝りすぎだ

馬鹿



僕は替えの利く
便利な提督の道具で

僕は今まで通り
提督に使われながら
戦場で散るんだ

艦娘はいくらでも
代わりがあるから

だから提督は
僕が沈んでも…っ



ああ……クソっ
お前意外と
世話の焼ける奴だな

ごめん…
提督…



痛っ…!!

急に立つからだ!!
座ってる!!



滅茶苦茶だよ
お前、自分のした
復讐っていう建前を
自分で否定してるぞ



さっきから
言ってること
滅茶苦茶だし

え

僕、そんなに
滅茶苦茶なこと
言ってる?



扶桑も山城も

最上も満潮も
朝雲も山雲も
みんな

この世界ではお前と同じで
「替えの利く便利な道具」
なんだよ

あ…



そうだとわかってても
お前は勝手に
出撃してたんだらう

自分は死ぬべきだと
自責しながら
あわよくば死ねたらなんて
くだらない期待を寄せて



そんなに僕
わかりやすいかな



な、なんで提督
僕がそう考えてるって
わかるの……？

見りやわかる
バレバレだよ

だめいぬ時雨躰け記録

発行日 2015/08/16

眼帯少女中毒@中田瑠美
<http://gantaigirl.org/>
ruminakada06@gmail.com

印刷:サングループ様

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

※十八歳未満の閲覧を禁じます



眼帯少女中毒

COMIC MARKET 88
2015 SUMMER